

第84回千葉県メーデー
(5月1日)

千葉10:30～ 千葉市中央公園
船橋10:00～ 天沼公園
松戸15:00～ 松戸西口公園
柏 10:00～ 柏公園
市原10:00～ 梨の木公園

ちば労連

ホームページ <http://chibarouren.jp/> メール chibarouren@axel.ocn.ne.jp

第 257 号 URL 版 2013 年 4 月 30 日

発行 千葉県労働組合連合会

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉センター

電話 043(225)5576 FAX 043(221)0138

発行人 本原康雄 定価 20 円

【1面】

宣伝活動、対話、交流を旺盛に 仲間を迎える春の拡大月間

3月から5月にかけてとりくむ組合員拡大月間は、千葉労連全体で4000名を目標に掲げ、新歓運動、対話、交流を重視しながら各組織が行動しています。春は、人と人との出会いの季節です。さまざまな宣伝活動を通じて組合の存在意義を知らせ、職場環境の改善、仲間の要求実現のために運動を強く奮闘。新たな仲間を迎え入れています。

「相談」を前面に 定期大会を増勢で

千葉土建では減勢を跳ね返し、3万人の峰をめざして組織拡大を追求、通年拡大の総仕上げとなる春の月間が2月からスタートしました。

昨年に引き続き、社会保険未加入問題の説明会を開催しながら労働保険や税金、不払い、社会保険、アスベストの各種相談など「相談するなら“千葉土建”」を前面にとりくんでいます。

今年から、建設業界の“今”の情報を届ける広報紙を新刊してダイレクトメールで発信。春は、労働保険の年度更新や従業員の新規採用なども重なる時期です。電話掛けでの対話など、積極的な事業所へのアプローチと、仲間に依拠した拡大の両面から成果につなげようと各支部が行動しています。

また、開始からわずか2週間で目標を達成した佐原支部を先頭に、自治体から発注される「放射能除染作業」での仕事を機に仲間を増やす我孫子支部、「仲間のつどい」に参加を呼びかけ、組織づくりと同時に拡大をすすめる市川支部など、地道な行動が実を結んでいます。

千葉土建は、「すべての支部が増勢で」5月の定期大会を迎えようと仲間の力を結集し、奮闘しています。

「頼りになる」組合アピールしながら

全教千葉では辞令交付式に合わせ、葛南教育事務所、東葛教育事務所、千葉市教育事務所に新規採用される教職員を対象とした宣伝活動を毎年行っています。組合紹介のリーフレットやお祝いの手紙、学



組織づくりをすすめる千葉土建市川支部

習会の案内に加え、全教共済と全教自動車保険のパンフレットを同封した封筒を辞令交付式の会場前で手渡しています。学生の新歓期のようにこの時ばかりはほとんどの新採者が封筒を受け取ります。そのため、この宣伝活動は新採者に全教千葉の存在をアピールし、活動の内容を知らせる絶好の機会となっているのです。

教職という仕事に期待と不安を大きく持って職場へやってくる新採者は、これからたくさんの困難と喜びに出合っていくと思います。そんな時、頼りになるのが全教千葉であることがわかる宣伝物を渡しています。職場に行って全教の組合員に出会った時、組合員がいない職場であったとしても困難に出会った時、今回配付した封筒をもう一度しっかり見て欲しいと思っています。

新組織結成 運動強め要求実現を

JMIU (全日本金属情報機器労働組合) は、高輪デーゼルグループ支部 (以下高輪支部) と野田市開発協会支部 (以下野田市支部) が相次いで新組織を結成しました。高輪支部はもともとあった会社を買収され、資本が変わり、それにもとない賃金が大幅に削減されました。組合は団体交渉を求めています。会社正当な理由を示さず拒否し続けています。



新支部を囲んで JMIU お花見交流会

野田市支部では協会が財団法人から一般法人に移行するに伴い、大幅な賃金削減案を突きつけました。団体交渉で賃金削減の実施時期を延期させることができましたが、今後も厳しい交渉が続くと予想されます。

昨年 5 月に結成されたナノテック支部ですが、組合嫌悪が表面化し厳しい攻撃に晒されています。監視カメラで職場を監視し、警察沙汰の事件をでっちあげています。職場は悪化の一途。事情はそれぞれ、新米組合にとっては厳しい状況です。しかし経験豊富な JMIU と千葉労連の仲間の支援のもと、要求実現のため、迷いながらも元気に活動しています。

賃上げなくしてデフレ脱却なし

公務・民間労組の共闘強化を

7・8%賃下げ公務員攻撃許さず

自治労連では、3月の県知事選も含め、職場の課題、組織拡大などを軸にしながら、闘いを進めています。また、民間のストライキへの支援や中央行動への参加など、世論喚起の行動にも参加して、民間の春闘賃上げ交渉にも協力活動をしています。

千葉県全域の自治体でいま行われている闘いが、「平均 7・8%賃金削減」の押しつけ反対運動です。

「デフレ脱却」「日本経済再生」を唱える安倍首相の政策に反し、政府が地方自治体に賃金削減を要請しています。これは政府による地方自治への介入にくわえ、関係事業含め 650 万人に影響し、



郵政産業ユニオンの浦安支店スト

収入減により地域経済へも重大な影響をおよぼします。また、公務員賃金削減は、消費税導入への足がかりにもなります。

このことには、自治体職員だけではなく、県内各自治体首長も反対の決議を行いました。

要求署名をはじめ 4 月 30 日は千葉県知事への要請行動、5 月 11 日は千葉駅前で駅頭宣伝を官民共同で行い、不当な押しつけをくいとめる闘いを進めていきます。

奮闘する民間部会

さらに、日本経済と国民生活をどん底に突き落とす「アベノミクス」賛美のバブルが大きく膨らむ中、「大幅賃上げで、労働者の懐を温めることこそがデフレ脱却の特効薬」と、千葉労連民間部会の仲間が奮闘しています。

医労連では、東葛病院分会がベアを勝ち取りました。また、ベア回答が出ていない日赤労組、労災病院労組、千葉勤医労も、ストライキの決行、組合員集会の開催等、「何としてもベアを獲得する」との執念を持ってたたかい続けています。成田日赤労組では、4 月 24 日にもストライキを配置して、ベア獲得の実現に向けて準備をすすめています。

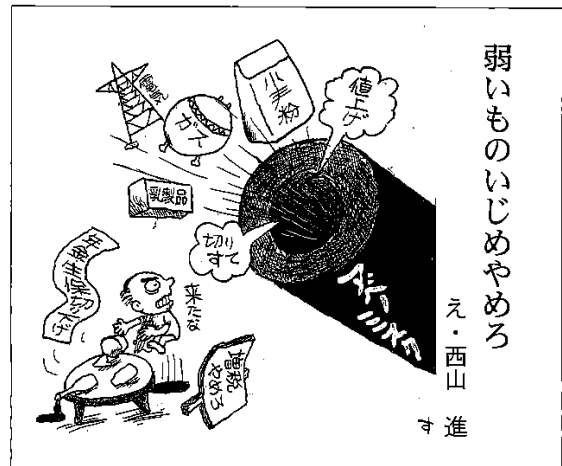
JMIUでは、三和機材支部 6 3 2 5 円、アイエスピー支部 5 8 7 2 円、栄製作所支部 5 5 0 0 円等の賃上げを獲得し、仲間を励ましています。

一方、JMIU労組結成まもない職場や建交労、全労連・全国一般の一部の職場では、経営者が悪徳弁護士や労務屋を使い、「団体交渉は受けるが、まともな理由も示さず回答は一切示さない」不誠実団交を続けています。JMIUナノテック支部では、監視カメラで組合員を常時監視し、謀略を仕掛けるなど、なりふり構わない労働組合潰しの暴挙に出ています。

こうした攻撃を跳ね返していくためにも、千葉労連が一丸となって、13 春闘を勝利していくことが必要になっています。

波 涛

落葉樹が一斉に芽吹き萌え広がっている。が、人心には屈託がある 大きな理由は安倍晋三。消費税増税、社保解体、原発推進、TPP参加路線はそのままに、新たにバブルの作出、ムダな公共事業再開、解雇自由への暴走が加わった 祖父の岸信介は戦前、軍需商工畑の閣僚として旧満州で暗躍し、戦後A級戦犯容疑者となったが、61年前の米との単独講和および日米安保条約発効によって政界に復帰した 孫はアメリカへの感謝の念を込めて4・28に記念行事を行うという。アメリカに頭が上がらず、財界・資産家のために権力をふるう姿は同じ 人心に若葉、青葉が広がることを念じ、春闘から参議院選へ憲法が活きる社会めざす。



【2 面】

昭和ゴムは俺達を守る

霞ヶ関総行動から 4 . 1 5 スト

3 月 22 日、全労連・全国一般昭和ゴム労組は第 3 弾となる霞ヶ関総行動にとりくみました。悪質ファンド A P F による企業の資産強奪・解体を許さず、企業存続と雇用・生活を守る総行動にはのべ 4 5 0 名が参加しました。

衆議院議員会館内での意思統一集会には、日本共産党の大門参議院議員や日本科学者会議の鳥畑静岡大学教授が激励に駆けつけて連帯を表明。衆参金融委員会に所属する 65 名の国会議員に分担して陳情を行い、金融庁前で昼休み宣伝行動後、分担して金融庁交渉、政党訪問要請を展開しました。

日本橋の昭和ゴム H D 社前行動で日中行動を終え、最後に台東区民館ホールで決起集会を開催し、全労連、千葉労連、東京地評代表の連帯表明や当該労組の元気な青年部集団の活躍で大きな成功を収めました。

霞ヶ関総行動の成功後、昭和ゴムを支配する A P F は、3 月 26 日に委員長等 7 名の報復配転を内示。組合は、この配転がゴム製品製造の本業に重大な支障をきたし、組合つぶしの意図があらわな人事であることから団体交渉等で繰り返し説明を求めてきましたが、A P F 経営陣は一片の合理性も示すことなく、強行の姿勢を変えていません。

組合は配転一部強行の当日 4 月 15 日に、春闘 0 回答と配転強行に対して抗議の時限ストを決行しました。

また、春闘と配転をめぐるたたかひの最中 4 月 2 日には、多くの組合員を含む 3 9 名の株主が「A P F 此下兄弟等 3 名に対して約 6 億円の損害賠償金を昭和ゴムに支払うよう求める」株主代表訴訟の提起請求を行いました。



春闘ゼロ回答と配転強行に対して抗議の決起集会 & 構内デモ

オリエンタル東京地裁判決

不法行為認め継続賃金差別認めず

4 月 15 日、東京地裁は 1 9 9 1 年以後の差別賃金の支払を求めた J M I U オリエンタルモーター支部と組合員の請求に対して判決を下しました。

判決は、38 年余の組合つぶしの是正を命じた数々の労働委員会命令や裁判判決を軽視し、違法性は強いと会社を断罪。不法行為による慰謝料を支部と組合員に支払うよう命じました。

しかし、差別賃金の支払請求については、90 年までの差別賃金支払を命じた東京高裁確定判決と、91 年以後の賃金差別を切り離して、会社を免罪しました。

支部と共闘会議、弁護団は同日、判決の不法行為を認めた積極面を評価しつつも、継続した賃金差別を認めず、慰謝料も低額であったことから東京高裁に控訴してたたかうとの声明を發しました。

明るい会県知事選挙

報告講演会 & 感謝のつどい

憲法がいきる明るい千葉県をつくる会（明るい会）は 4 月 8 日（日）に千葉市内で県知事選挙の報告講演会 & 感謝のつどいを開催し、71 人が参加しました。

講演会は千葉大学名誉教授の三輪定宣さんが、候補者に選ばれてから投票日までの激動の 5 ヶ月間を 1 時間に渡って講演しました。

その後の感謝のつどいレセプションは各団体・個人が想いを語り、最後に団結がんばろうで 4 年後に向けた運動のスタートを確認しました。

J A L 原告団と支援者

津田沼で熱烈アピール

3 月 30 日（土）昼時の 1 時間、J A L 原告団とたたかいを支援する団体が津田沼駅等で宣伝行動をしました。全体で 66 名が参加し、1200 枚のチラシを配布しました。

労働相談 1 ヶ月 ～ 脳脊髄液減少症 ～

聞きなれない疾病名についての相談が来ています。相談の内容は、交差点で停車中に追突され、むち打ち症になった。保育園の園庭で保育中、男性同僚が力いっぱい蹴ったサッカーボールが頸の付け根にあたり頸椎挫傷した。仕事で垣根に上り作業中、バランスを崩してお尻から転落し臀部・胸部打撲した。という事例です。

共通する経過を見ると、整形外科を受診したが、症状が回復せず日常生活にも支障があるということです。何かおかしいと思い自分で調べたり、友人などの話を聞いてみると、立っているのがつらい、根気がなくなった、あちこちに痛みが出るなど「脳脊髄液減少症」という病気の症状に似ていることがわかったが、治療や公務災害・労災との関係はどうなるのかという相談でした。

まず、脳脊髄液減少症の現状を見ると、新しい疾病ということから健康保険で治療を受けることができませんでした。交通事故でむち打ちと診断された人の多くに発症していることから、これらの人が中心となり健康保険で治療が受けられるように厚生労働省に要求が出されています。共産党の国会議員が度々国会質問を行い、被災者救済を求めてきた経緯もあり、一般治療は健康保険で受けられるようになりました。

また、この病気の有効な治療法といわれるブラッドパッチについては、先進医療の対象疾病に指定され、限られた病院になりますが健康保険の適用が受けられる所まで来ています。

厚生労働省では研究班を作って、診断基準や治療についての検討が行われています。近いうちに結論が出される予定となっており、改善が期待されます。

千葉県は他県に比較して診断と治療のできる病院が多数あります。しかし、依然として理解が進んでいない病気で労災請求の場合は、十分な準備が必要になっています。脳脊髄液減少症の疑いがあるときは、一人で悩まずに相談することをお勧めします。【中林】